

グラクソ スミスクライン ADR(GSK)

【セクター】 ヘルスケア

【市場】 NYSE

【企業概要】

イギリスの医薬品大手です。17年12月期の部門別売上は、医療用医薬品部門が57%、ワクチン部門が17%、消費者向け製品（大衆薬）部門が26%です。医療用医薬品部門では、喘息など呼吸器系疾患の治療薬が部門売上の40%を占める主力分野で、HIV治療薬が25%を占めるほか、うつ病、皮膚病、循環器系疾患、がんの治療薬などを提供します。英国の会社で業績はポンド建てで計上されるため、英国の欧州離脱によって通貨ポンドの価値が動くと業績に影響が出る点には注意が必要です。

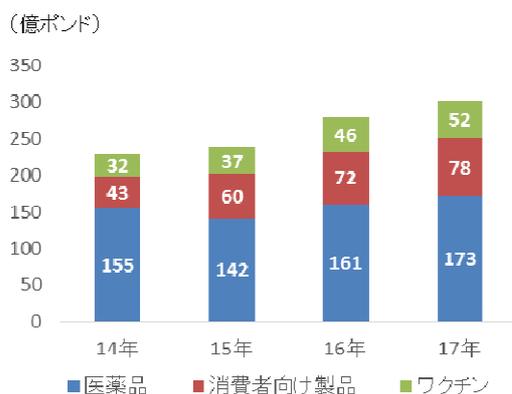
【業績】（単位：売上、純利益は百万ポンド、EPS、DPS、BPSはポンド、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
16年12月期	27,889	4,664	0.95	0.80	0.2	149.5	8.4
17年12月期	30,186	4,775	0.97	0.80	0.0	-	6.2
18年12月期予想	30,501	5,637	1.15	0.80	0.3	-	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

図表1 部門別売上の推移



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 主力薬の売上（17年）

薬品名	効能	17年売上 (百万ポンド)
アドエア	喘息治療薬	3,130
トリーメク	HIV治療薬	2,461
テビケイ	HIV治療薬	1,404
エリプタ	喘息治療薬	1,006
ベネトリン	喘息治療薬	767
ラミクタール	双極性障害治療薬	650
アボダート	前立腺肥大治療薬	613
フルチカゾン	喘息治療薬	596

(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

売上最大の喘息治療薬「アドエア」のジェネリック薬が19年には出てくると見込まれていることから、これによる売上減少を如何に和らげられるかが注目点となっています。米国で売上が伸びているHIV治療薬の「トリーメク」「テビケイ」や帯状疱疹ワクチンの「シングリックス」などがカバーすると期待されています。2018/12/3（月）に卵巣がん治療薬の「ゼジュラ」を擁する米国のテサロ社を51億ドルで買収すると発表しましたが、この文脈のアクションと考えられます。

【見通し・注目点】

18年7-9月期の業績は、為替の変動による影響を除いたベースで売上が前年同期比6%増と堅調で、同じベースによる部門の売上と営業利益は、医療用医薬品部門が前年同期比3%増収、同2%減益、ワクチン部門は同17%増収、同26%増益、消費者向け製品（大衆薬）部門が同3%増収、同16%増益でした。医療用医薬品部門は研究開発費の増加で減益となり、ワクチン部門は帯状疱疹ワクチンの「シングリックス」が牽引しています。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 18/12/6)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。